

埼玉県狭山市立御狩場小学校訪問（レポート）

—教育実習生 相原翔太（政経学部令和元年度卒業）さんがお世話になりました—

令和3年1月26日（火）、埼玉県狭山市立御狩場小学校（全校児童216名）でご活躍の鈴木眞澄校長先生（体育学部体育学科 昭和60年度卒、第27期生、陸上競技部で大活躍、旧姓：名取）を訪問した。10：30～ 業間運動の時間だった。御狩場マラソン、ドッジボール、なわとびタイムを楽しむ、元気一杯の子どもたちに出会えた。「わかる力・かかわる力・きたえる力を育む学校」づくりをされている学校だ。先生方のエネルギーが伝わってくる素晴らしい学校だ！と子どもたちの輝く瞳が感じさせてくれた。



10：50～ 社会科授業研究会、緊張する子どもたちに、担任の宮崎先生が“頭ほぐし体操！”と声をかける。教育実習生 相原翔太先生がチャイムと同時に「始めます」。



「この写真、分かる人！気付いたことは？」相原先生の声に「自力解決」タイム2分。「予想」タイム。そして「発表」タイム。ガードミラー7名、グリーンベルト9名が挙手。活気づく授業、思考する力が伸びている。ノートに書く力が伸びている。素晴らしい子どもたちや先生方に出会えた。

有難うございました。

（文責：国士舘大学楓教育会 理事長 坂本 徳雄）

鈴木眞澄校長先生が伝えたいこと —あすへいこう—

知・徳・体のバランスのとれた力の育成に向けた、自分なりの学校経営の原点は、辛抱強さと日々のルーティンです。あいさつ・すなお・へんじ・いよくをもってこうどう：あすへいこう！児童にも教員にも目指しています。